

東京土建一般労働組合
東京都新宿区北新宿1-8-16
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
ホームページ
http://www.tokyo-doken.or.jp/

定価 五十円
(年間購読料 千八百円)
購読料は組合費のなかに含まれています

けんせつ

印刷部数 108,100部 発行人・編集人 吉川 豊

仲間の考える「解散」の争点は

年内解散を見送った岸田首相。これまで「勝てる」タイミングで解散総選挙が行われてきましたが、仲間が考えるその大義、今の政治の争点を語ってまいりました。
(関連記事4・5面)

物価高騰から仕事とくらしを守れ

11・17賃金・単価引上げ、予算要求中央総決起大会

仲間が集えば「雨あがる」

処遇改善、100万人署名で

11月17日、午前に東京都に向けて対都要求行動を行なった後、あらためて日比谷公園に、全国から1812人の仲間が集結。秋空の下、国民生活無視の政治に怒りの声を響かせました。

「建設国保の育成・強化、賃金単価引き上げ、物価高騰から仕事とくらしを守ろう」とのメインスローガンをかかげ、集会は開会。司会が46県連・組合から集まった仲間たちを地域別に呼びかけ、呼ばれた参加者たちは手を上げ、声を上げて答えました。

雨の中始まった予算要求集会でしたが、参加者の思いが通じる形で、開始10分ほどで晴れ間が見え始めました。全建総連の中西委員長のあいさつなどに続き、集会に駆けつけた国会議員からは、まず平沢勝栄衆議院議員(自民)が「人材育成と環境改善に努力する」とあいさつ。ウクライナでの戦争や不安定な中東情勢にも触れながら「日本の役割が重要。今、経済対策をねっている。仕事とくらしを守る」と述べました。続いて枝野幸男衆議院議員(立民)は「インフレを抑えなければならぬのに、デフレから脱却などと言っている」と岸田政権を批判。「みなさんの怒りを全身で受け止める」とあ



参加者が全体でプラカードアピール

ちを地域別に呼びかけ、呼ばれた参加者たちは手を上げ、声を上げて答えました。雨の中始まった予算要求集会でしたが、参加者の思いが通じる形で、開始10分ほどで晴れ間が見え始めました。全建総連の中西委員長のあいさつなどに続き、集会に駆けつけた国会議員からは、まず平沢勝栄衆議院議員(自民)が「人材育成と環境改善に努力する」とあいさつ。ウクライナでの戦争や不安定な中東情勢にも触れながら「日本の役割が重要。今、経済対策をねっている。仕事とくらしを守る」と述べました。続いて枝野幸男衆議院議員(立民)は「インフレを抑えなければならぬのに、デフレから脱却などと言っている」と岸田政権を批判。「みなさんの怒りを全身で受け止める」とあ



池袋駅前、チラシで署名を訴える(上)、あいさつする鈴木衆議院議員(下)

みずきはな

学習と交流で絆

文京と城北Bが合同で

東京23区の北部地域の文京、豊島、北、板橋、練馬の5支部で、はなみずきの会(建設アスベスト訴訟原告・石綿健康被害者交流会)が11月21日、池袋の技術研修セン



「なみずき」交流会の様子

タ1の3階を会場に開かれ、建設メーカ訴訟勝利に向けて原告同士のつながりを強化し、政治にも働きかけようという趣旨で企画されたもので。主催者あいさつでは、弁護団の加藤幸さんから「アスベスト被害の全面解決にむけて、世論を動かす法律を作る必要がある。体調に気を付けながら一緒にがんばりましょう」と呼びかけがありました。駆けつけた自由民主党の鈴木隼人衆議院議員は「祖父、父共に建設業。アスベスト問題について勉強を深めてきた」と語り、被害者に救いの日が訪れるようがんばるので話をぜひ聞かせてほしい、と述べました。その後の学習「訴訟の現局面と展望」講師・清水謙一事務局長についても熱心に耳を傾けていました。立憲民主党の山岸一生衆議院議員、同じく立憲民主党の鈴木庸介議員の秘書の方からも一言あいさつをもらいました。

基調報告に立った勝野書記長は、建設従事者の処遇改善につながる来年の「担い手3法」の論議に向け、「100万人署名を総力をあげて達成しよう」と訴えました。大会決議を拍手で承認した後、「建設国保育成・強化」「賃金・単価大幅引き上げ」のプラカードを一斉に掲げるアクションで会場の心を一つに。そして、銀座の街中をデモ行進して、建設技能者の処遇改善を訴えました。



東京土建全体で737人が参加

集会に参加した仲間たちの声

【西多摩・塗装・大泉純さ】塗装の仕事をしていて、材料は支給なんです。資材高騰の煽りは受けていませんが、ガソリン代とかは自前なんです。今やバいですね。

【渋谷・内装・大石尚美さ】いないので、そっちをとかくなんとかしてほしいです。

【渋谷・内装・大石尚美さ】支部の社会保障対策部の部長をしています。国会前、都庁には行ったことありませんが、日比谷の集会には、初めて参加しました。全国から来た人の多さにびっくりです。雨の中でも行動するというところで、逆に皆さんの意気込みを感じることができ



大泉さん



大石さん

ました。国民健康保険も値上がりすると聞いています。何もしないと変わらない。やはり建設国保の予算確保の行動や仕事確保の運動、賃上げに声をあげることが大事。がんばるみなさんを見て気持ちをあらたにしました。

全員にマイクを回し、一言づつ思いを伝え合いました。その後、全員で池袋駅前に移動して署名活動に取り組みました。小さい子供を連れて家族で参加した若い会員の仲間も、熱心にチラシを配布して署名を呼びかけました。

朝やけ

■セキュリティイクリアランス法案が来年の通常国会に提出されるのでは、と言われている。これは国家の機密となる重要情報にアクセスする人への資格を与えるものだ。先日「けんせつ」通信員総会の講演で、メディア総合研究所の岩崎氏から話があった。

■AI、宇宙、サイバーなど、軍事転用が可能な技術が広がる中で、経済分野で安全保障上の措置を取る必要性が高まっている。というのがその理由。簡単に言えば、政府が個人の身辺を調査して、情報を漏らしたりしないかを判断し、お墨付きを与えるということだ。もちろん、情報を漏洩させれば厳罰が科されるのだろう。

■実は、2013年に制定された特定秘密保護法の関係で外交、防衛、テロ、スパイの4情報に関する秘密を扱う公務員については、すでに調査が行なわれている。「適正評価」の名の下に政治信条、借金の有無、血縁関係など、こっそりと調べているのだ。

■特定秘密保護法は、反対運動の成果で、国会の情報監視審査会など、土壇場で政府に制約も多くなっていった。セキュリティクリアランス法は、それを払拭して政府が自由に裁量できる秘密保護体制の強化を狙うもの。軍事国家への急速な傾斜とともに、人権を抑圧する警戒すべき動向だ。